

2026年6月20日(土)**ランチョンセミナー**

12:10～13:00 | 第1会場（ウイंकあいち 2F 大ホール）

ランチョンセミナー1 補綴歯科臨床におけるデジタルワークフローの現在と展望―

[LS1] 補綴歯科臨床におけるデジタルワークフローの現在と展望―

*近藤 尚和¹ (1. 愛知学院大学 歯学部 冠橋義歯・口腔インプラント学)**ランチョンセミナー**

12:10～13:00 | 第2会場（ウイंकあいち 6F 展示場604+605）

ランチョンセミナー2 ～不要から戦略的活用へ～ 専門医が義歯安定剤の使用を勧める場合とは

[LS2] ～不要から戦略的活用へ～ 専門医が義歯安定剤の使用を勧める場合とは

*松田 謙一^{1,2} (1. ハイライフ大阪梅田歯科医院、2. 関西支部)**ランチョンセミナー**

12:10～13:00 | 第3会場（ウイंकあいち 5F 小ホール1）

ランチョンセミナー3 STREAK- I ；麻酔も投薬もなくせる未体験ゾーンのレーザー治療機器の紹介

座長：佐久間 重光（愛院大）

[LS3] STREAK- I ；麻酔も投薬もなくせる未体験ゾーンのレーザー治療機器の紹介

*矢島 孝浩¹ (1. やじま歯科医院)**ランチョンセミナー**

12:10～13:00 | 第4会場（ウイंकあいち 5F 小ホール2）

ランチョンセミナー4 Smilecloud 3DNA 初期導入から臨床応用へのステップ

[LS4] Smilecloud 3DNA 初期導入から臨床応用へのステップ

*梶岡 宣好¹ (1. すぎおか歯科クリニック)

ランチョンセミナー

■ 2026年6月20日(土) 12:10 ~ 13:00 | 会場 第1会場 (ウインクあいち 2F 大ホール)

ランチョンセミナー1 補綴歯科臨床におけるデジタルワークフローの現在と展望ー

協賛：インビザライン・ジャパン合同会社

[LS1] 補綴歯科臨床におけるデジタルワークフローの現在と展望ー

*近藤 尚和¹ (1. 愛知学院大学 歯学部 冠橋義歯・口腔インプラント学)

ランチョンセミナー

2026年6月20日(土) 12:10 ~ 13:00 | 第1会場 (ウインクあいち 2F 大ホール)

ランチョンセミナー1 補綴歯科臨床におけるデジタルワークフローの現在と展望ー

協賛：インビザライン・ジャパン合同会社

【LS1】補綴歯科臨床におけるデジタルワークフローの現在と展望ー

*近藤 尚和¹ (1. 愛知学院大学 歯学部 冠橋義歯・口腔インプラント学)

キーワード：口腔内スキャナー、補綴歯科治療、デジタルワークフロー

近年、補綴歯科臨床の現場においては、口腔内スキャナー（IOS）を起点としたデジタルワークフローが急速に普及している。

本講演では、iTero Luminaを用いた基礎研究の結果をもとに、印象精度と歯列の再現性を高めるための具体的な運用ポイントについて、エビデンス・ベースで解説する。特に以下の点にフォーカスして、デジタルワークフローの現在と今後の展望を会員の先生方と討論したい。

- ・日常臨床で適用可能なデジタルワークフローの設定
 - ・スキャン精度を左右するパウダー活用の実践的テクニック
 - ・スキャンデータの精度が補綴設計に与える影響とその結果から導かれた設計原則を整理する
- 光学印象採得の保険適用も進む、補綴CAD/CAM冠を中心とした現状の活用に加え、今後の補綴臨床・インプラント臨床におけるデジタルワークフローについても触れる。

すなわち、口腔内スキャナーを単なる“印象採得機器”としてではなく、診療ワークフローの起点となるツールとしてどう活用するかという視点から、臨床実装の考え方を提示する。

本講演を通じて、補綴歯科治療ならびに口腔インプラント治療におけるデジタルワークフローの本質を、再定義し、解説する。

ランチョンセミナー

■ 2026年6月20日(土) 12:10 ~ 13:00 | 第2会場 (ウインクあいち 6F 展示場604+605)

ランチョンセミナー2 ～不要から戦略的活用へ～ 専門医が義歯安定剤の使用を勧める場合とは

協賛：Haleonジャパン株式会社

[LS2] ～不要から戦略的活用へ～ 専門医が義歯安定剤の使用を勧める場合とは

*松田 謙^{1,2} (1. ハイライフ大阪梅田歯科医院、2. 関西支部)

ランチョンセミナー

2026年6月20日(土) 12:10 ~ 13:00 | 第2会場 (ウイंकあいち 6F 展示場604+605)

ランチョンセミナー2 ～不要から戦略的活用へ～ 専門医が義歯安定剤の使用を勧める場合とは

協賛：Haleonジャパン株式会社

【LS2】～不要から戦略的活用へ～ 専門医が義歯安定剤の使用を勧める場合とは

*松田 謙一^{1,2} (1. ハイライフ大阪梅田歯科医院、2. 関西支部)

キーワード：義歯の3要素から考える義歯安定剤の役割、歯安定剤に関するエビデンス、義歯安定剤の使用を勧める症例

歯科医師にとって義歯安定剤は、「適切な義歯が製作されていれば不要なもの」、「義歯臨床が不得意な場合に勧めるもの」、あるいは「不適合義歯への応急的な対応」といった否定的なイメージを持たれがちである。

しかし実際の臨床においては、補綴専門医であっても一定の条件下では義歯安定剤の使用を推奨する場面が存在する。本セミナーでは、義歯安定剤を感覚的に否定・肯定するのではなく、適切な臨床的判断に基づいた一つの選択肢として再考することを目的として、講演を行いたい。

まず、義歯の3要素（支持・把持・維持）の観点から義歯安定剤が果たす役割を整理し、何のために義歯安定剤が必要なのか？を考察してみたい。

続いて、補綴専門医が知っておくべき、近年の義歯安定剤の有効性に関するエビデンスを紹介する。その上で、義歯臨床において「あえて使用を考慮すべき場面」とはどのような症例かを具体的に供覧したい。

義歯安定剤の役割を理解して、患者に正しく勧めることは、義歯の機能性の向上のみならず、患者のQOLの向上や心理的な安心感にも繋がる重要な要素である。

さらに、臨床現場で不可欠となる義歯安定剤の正しい使用方法、および患者への適切な説明と指導のポイントについても詳しく解説する。

本講演を通じて、義歯安定剤を単なる応急的な対処法としてではなく、患者の満足度を高めるための有効なツールとして戦略的に活用するための指針を示したい。

ランチョンセミナー

■ 2026年6月20日(土) 12:10 ~ 13:00 | Ⅲ 第3会場 (ウインクあいち 5F 小ホール1)

ランチョンセミナー3 STREAK-Ⅰ；麻酔も投薬もなくせる未体験ゾーンのレーザー治療機器の紹介

座長：佐久間 重光 (愛院大)

協賛：株式会社アブソルート

[LS3] STREAK-Ⅰ；麻酔も投薬もなくせる未体験ゾーンのレーザー治療機器の紹介

*矢島 孝浩¹ (1. やじま歯科医院)

ランチョンセミナー

2026年6月20日(土) 12:10 ~ 13:00 | 第3会場 (ウイंकあいち 5F 小ホール1)

ランチョンセミナー3 STREAK- I ; 麻酔も投薬もなくせる未体験ゾーンのレーザー治療機器の紹介

座長：佐久間 重光 (愛院大)

協賛：株式会社アブソルート

[LS3] STREAK- I ; 麻酔も投薬もなくせる未体験ゾーンのレーザー治療機器の紹介

*矢島 孝浩¹ (1. やじま歯科医院)

キーワード：無麻酔、口腔内溶接、印象採得

Nd:YAGレーザーは組織浸透力が強く組織ダメージを与えやすいもの？

従来はそのようなイメージでとらえられがちなNd:YAGレーザーであったが、STREAK- I は安全にかつ多様な臨床に浸潤麻酔さえ不要にて使用できる機器である。今回紹介するSTREAK- I は他のNd:YAGレーザーにはない独自の発振機構を備え、最高出力13.86W最大ピークパワー4KWと高出力を備えたレーザー機器であり、ハイピークパルスタイプのフレキシブルファイバー導光式のNd:YAGレーザーである。さらにパルス発振の詳細なコントロールが可能で1~99ppsまで細かなコントロールが可能であり、その発振は1万分の数秒単位と繊細なものである。最大の特徴はパルス幅を4種類備えており、50 μ s、100 μ s、200 μ s、400 μ sと可変式であり、パルス幅の違いにより軟組織から硬組織まで様々な治療に応用できる。またファイバー先端を加工することにより先端は最大2780℃になる(金沢大学)が1万分の数秒単位の正確な発振そして独自の注水機構により熱蓄積が起こりにくく、歯髄処置においてさえ無麻酔下にて使用が可能となる。補綴分野においても印象採得をはじめにろう着用インデックス採得、口腔内溶接など多様な応用が可能となる。今回はさまざまな臨床例とともに紹介する。

ランチョンセミナー

📅 2026年6月20日(土) 12:10 ~ 13:00 | 📍 第4会場 (ウインクあいち 5F 小ホール2)

ランチョンセミナー4 Smilecloud 3DNA 初期導入から臨床応用へのステップ

協賛：ストロマン・ジャパン株式会社

[LS4] Smilecloud 3DNA 初期導入から臨床応用へのステップ

*梶岡 宣好¹ (1. すぎおか歯科クリニック)

ランチョンセミナー

2026年6月20日(土) 12:10 ~ 13:00 | 第4会場 (ウイंकあいち 5F 小ホール2)

ランチョンセミナー4 Smilecloud 3DNA 初期導入から臨床応用へのステップ

協賛：ストローマン・ジャパン株式会社

[LS4] Smilecloud 3DNA 初期導入から臨床応用へのステップ

*相岡 宣好¹ (1. すぎおか歯科クリニック)

キーワード：デジタル診断、補綴治療計画、顔貌主導型の補綴治療(Facially Driven Prosthetics)

デジタル技術が日常に浸透した今日、歯科医療の完全なデジタル化は不可欠な要件となっています。従来の口腔内を主流とした補綴計画から、顔貌主導型補綴治療（Facially Driven Prosthetics）へと移行する時代を迎えました。

本稿では、デジタルツールを活用した顔貌主導型補綴治療計画をテーマに、Smilecloud3DNAを用いた具体的なプロセスを解説します。本ソフトは無料で導入できるため、初期設定から臨床応用までの手順を段階的にご紹介します。高度な補綴治療のビジュアル化は、患者様の同意獲得に貢献し、新たな歯科臨床の可能性を拓きます。